

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)MID堀之内新築計画【遊技場棟】				
建設地	新潟県新潟市中央区堀之内南3丁目322-1他32筆				
用途地域	近隣商業地域、準防火地域				
建物用途	集会所				
竣工年	2019年12月 予定				
敷地面積	9,678.36 m ²				
建築面積	4,290.61 m ²				
延床面積	4,492.37 m ²				
階数	地上2F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2019年5月26日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.4}{60.1} = 0.7$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 2.8		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	2.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.7		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 1.7		節水	LR2.1.1	1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
特に無し					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新業)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)MID堀之内新築計画【遊技場棟】	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市中央区堀之内南3丁目322-1他32筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年5月26日
敷地面積	9,678 m ²	作成者	株式会社東京オデッセイ 横山義弘
建築面積	4,291 m ²	確認日	2019年6月4日
延床面積	4,492 m ²	確認者	株式会社東京オデッセイ 横山義弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 99%
③上記+②以外の 99%
④上記+ 99%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	LED照明を採用し、省エネルギー性に配慮した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	外壁にはALCを採用し、断熱性能を高めた。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	LED照明を採用することで、BEImが基準値を満たしている。	LR3 敷地外環境 敷地内に駐車場を別棟で計画し、交通負荷抑制を図った。
Q2 サービス性能	耐用年数の長いLED照明を採用し、維持管理の容易化を図った。	
LR2 資源・マテリアル	特に無し。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される